

けいざいなみ

〒298-0111 千葉県いすみ市万木二番地
社会福祉法人榎の里 いすみ学園
電話 0470(八六)三四一二
E-mail アドレス ismi3412@itan.ocn.ne.jp

第 106 号



障害者差別解消を検証する

社会福祉法人 榎の里 理事長 土肥 豊

昨年4月に障害者差別解消法が施行されて一年が経過した。今年度は、実際にこの法律がどの様に具体化されているかが検証される年である。そもそもこの法律がどのような経緯を経て施行されるに至ったかを振り返ってみると、平成16年6月にそれまでの障害者基本法が改正され、施策の基本理念として差別の禁止を規定されたことから始まる。平成18年12月には国連総会において障害者権利条約が採択され、翌年9月には我が国もその条約に署名した。4年後の平成23年8月に障害者基本法が再び改正され、障害者権利条約の考え方を踏まえ、合理的配慮の概念が規定された。その施行過程の中で障害者差別解消法が平成26年6月公布され一部施行された後、平成27年2月にその基本方針が閣議決定され平成28年4月1日より正式に施行された。その基本方針の中には「障害を理由とする

差別の解消の推進は、雇用、教育、医療、公共交通等、障害者の自立と社会参加に関わるあらゆる分野」にわたるとされている。一部の公共機関や民間の企業などでは本法の施行以後様々な取り組みが試みられつつあり、また大学などでもそのためのセミナーなどが試行されているようであるが、一般社会の人々の障害者への関心は未だ決して温かいとは言えないのが偽りのない実情である。

例えば、公共の駐車場などで障害者向けの駐車スペースに平然と車を停める健常者が後を絶たないとか、駅のホームにある視覚障害者のための通路を塞いで大きな荷物が置かれていたり、白い杖を持った障害者がそこを歩いていても、道を開けて通してあげる人が殆どいない現状を目にする時、障害者差別解消法の基本的理念が一般社会に普及するまでには、前途尚遠しの感を

禁じ得ない。障害者に対してのみならず広く弱者に対する思いやりや労りの心が、意識することなくごく自然に態度として表現されるような温かい心を持った人間が育つためには、「三つ子の魂百までも」の諺にもあるように、学童期からではもう遅く、それ以前の幼少児期の教育、特に家庭での躾けが極めて大切であると痛感させられる。

また、障害者への理解の中で一つ気付くことは、我が国では一般に障害者というと、視覚障害とか義手・義足をつけた人という外見に表れている障害、つまり身体障害にのみ目を向けがちな傾向があるという点である。それはそれで勿論重要であり、それを否定する気は毛頭ないが発達障害を含む精神面の障害もまたもう一つの重要な対象であることを忘れてはならない。

35年前、筆者も仲間の一人としてその設立に関わった三重県の成人自閉症者療育施設「あさけ学園」（近藤裕彦施設長）の「設立の趣旨」には「福祉という言葉は語られても、人の心の中に、社会体制の中に、教育の中に、実際は差別のひどくある日本の社会の現状です。社会全体があまりにも能率や効率を重んじ過ぎている結果、一定の規格に合わない私達の子どもは、これまで同情はされても社会に共に生きる一人として認められてはきませんでした。（後略）」という一文がある。この状況は、あれから35年を経た現在どれ程改善されているだろうか？残念な

から「否」と言わざるを得ない。知的障害・精神障害を有する人々への福祉サービスにおいても、身体障害者に対する場合と全く同様に、常に本人に寄り添いその個人の身体的・精神的状況に応じたきめ細かい対応が要求される。

今回の障害者差別解消法の中にも、対象となる障害者として「身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）」その他の心身の機能の障害がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定義されており、この中には、自閉症やアスペルガー症候群なども当然含まれているが、身体障害者とは異なり一見ただけでは障害の質や程度がわからぬ場合も多く、また意思の疎通も取りにくいので、一般社会では中々受け入れられにくいのが実情である。

今後、社会全般の高齢化が一段と進む中において、これらの知的障害・精神障害（発達障害を含めて）を有する人々がどの様に高齢化の道をたどるのかは未知の部分も多いが、何れにしても、同じ一人の人間としてこの世に生きる権利を有することを決して忘れてはならないという事を改めて痛感する次第である。



『福祉サービス第三者評価を受審して』

支援課長 堂 下 勉

東京都が福祉サービスの向上を目的とした「第三者評価制度」を導入して以来、いすみ学園は、毎年受審してきました。福祉サービス第三者評価を受審するにあたり、学園は「指導・アドバイス」をいかに法人に反映していくかを意義として受審してきました。

◆評価結果は現場へのアドバイス

いすみ学園のサービス内容や、サービス提供者に対する評価がされること。また、事業者の経営や組織マネジメントが評価され、「サービスの質」の向上をはかる為の指針である。

昨年度は、「NPO法人 人材開発機構」に依頼しました。

調査は事前調査項目の記入、そしてその後、評価者が来園され、職員を対象に説明会を行い「職員自己評価分析シート」を全職員が回答して送付、次に利用者聞き取り調査を一日かけて実施。その後、利用者調査と職員の返送したデータに基づき学園への訪問調査となります。

【全体の評価講評について】

◆特に良いと思う三点

①学園理念を支柱とした支援が、家族、支援員が周知し、具現化に向けて日々の支援に取り組んでいる。

②「大人として働く機会を保证する」を基本理念に作業班や多くの作業を用意して、生活介護でありながら利用者の働く意欲を支援している。

③地域にある社会資源を活用して利用者が地域の一員として過ごせ、生活や活動の拡がりをもたらしている。支援職員が、利用者・家族の事情に応じた支援が評価できる。

◆さらなる改善が望まれる三点

①学園の自閉症に特化した専門性の還元が弱い。

②記録は職員により差があり、職場内研修を開始したこともあり、今後に期待したい。

③職員のやる気向上とメンタルヘルス対策に向けた取り組みに期待したい。この講評項目に関する努力も必要である。

最後に、障害者施設や介護老人施設におけるおぞましい事件が相次ぐ中、同業者としてこのような事件の繰り返しを壊滅していく為にも、職員育成の指針として第三者の視点からのサービス内容の評価は欠かせない。

グループホーム「さくらの家」「たんぽぽの家」29年度を迎えて

サービス管理責任者 加茂 正和

いすみ学園の2つのグループホームでも平成29年度がスタートしました。

さて、まずは「さくらの家」の皆さん、どんな年にしましょうか。5人の入居者は、全員がマイペースの個性派ぞろい。皆さん若干協調性に欠ける働き者です。電気部品工場に通うAさんに、さくらの家の良い所を聞いてみました。「ゆつくりと生活できる。移動支援事業所のヘルパーさんとの外出が楽しめる。」とお話。では、困っている事は？と尋ねると、「トイレのウォッシュレットの水が出ない。」との事。すぐに直しますねAさん。寮長の小島さんから一言、「めでたく全員50代となった利用者様は益々お元気！今年度もドタバタの毎日を楽しみましょう！」



さくらの家の皆さん 毎日元気に働いています!!

「たんぽぽの家」はどうでしょう。

こちら5人の明るく元気な入居者の皆さん。やはり平均年齢は50代ですが家事仕事も全員が協力し行い、大変に仲良く生活されております。仲間を代表して、水産加工の工場で働くSさんに聞いてみました。「寮の生活、良い所と、そうでない所は？」その答えは、「職場や学園では、周りの人に気を遣い、疲れるが、たんぽぽへ帰るとホッとする。安心する。そして気の合う仲間が居る。」「悪い所は、ない。」との内容。私もサービス管理責任者として、とても嬉しく思いました。また寮長の小島さんは、「今年度も、伸び伸びと、楽しく過ごしましょう！」とのコメントでした。



たんぽぽの家の皆さん 明るく笑顔が絶えません!!

支援について考える

支援主任 軽 込 進 一

今回私の立場から「支援について」の考えを話してほしいというお話があり、改めていすみ学園の支援について考えてみることにしました。

いすみ学園は開設以来「大人としての暮らし」をテーマとして利用者支援にあたってきました。その中でも中心課題としているのは、現在でも事業計画書にある「働く機会を保証する」ということとなります。しかしすでに開設から三十数年が経過し、利用者の年齢は施設入所支援では平均50歳となり他の入所施設と同じく高齢化対策は焦眉の課題となっています。ただしこれに反するような面白い先行研究もあります。日本は発達障がい者の高齢化研究はまだ少ないのですが、①年齢を重ねても外貌上の変化が少なく、年相応よりも若く見える。②高齢期に至っても余暇や労働に意欲的であること、が指摘されています。これは障がいの類型に関わらず、ほぼ同じデータが示されているので、いすみ学園でも同じように推移していくことが予測されます。このように考えていくと、徐々に高齢域になっていく利用者にも、今までと同じように生産活動に携わることで「生きがい・やりがい」を得てもらうことは大切だし、彼らには十分その余地が

あるということですが。ではこれからの支援は、若年層のころと変わらないのか？と問われれば、それではいけないと言つてよいでしょう。何が大きく異なるかと言え、正確な表現ではないかもしれませんが「時間の流れ」と「時間を大切にすること」ではないかと私は考えています。

オランダの心理学史教授であるD・ドラーイスマは著書「なぜ年を取ると時間が経つのが早くなるのか」の中で「記憶が自分であるという認識を私たちに与え、共有すべき記憶が多くなるほど時間の経過が早くなる」という仮説を立てています。また高齢者ほどに時間の意義を知り、よりどんな欲に生きているという研究も多く示されています。つまりわれわれ支援者と利用者とは数十年にわたる記憶を共有してきているのであり、そのことは今後ますます早くなる時間の経過とともに、大切にしていかなければならないと感じているのです。

今回勤続30年表彰をされた先輩たちがいますが、利用者にとってはすでに生育過程で過ぎてきた家族以上の時間を共に過ごしているということになります。利用者の人格形成においても人生の経験においても、支援者が果たした役割は多大であったと言えるでしょう。今後より重要となってくる一瞬の時間を、ともに笑顔と喜びを見出せる支援であるように考えていきたいと思つています。



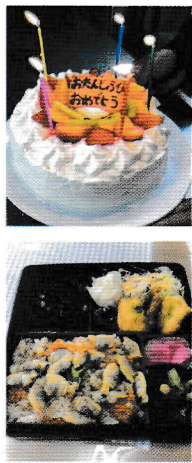
皆さん、こんにちは。毎日の食事を提供させていただいているレオックと申します。今回、初めて厨房からの記事掲載させて頂けるといふ事で献立の紹介をしたいと思います。

朝食では、ご飯・味噌汁・切干大根の煮物やひじきの煮物、高野豆腐の卵とじなどの和食を中心とした内容に、また、水曜・日曜日はパン食となっております。

昼食・夕食では、鶏の唐揚げやカシューナッツ炒め、魚のムニエルやグラタンなど和洋折衷の内容になっています。朝食の味噌汁には加工班で作られる味噌を使用し、三班からは季節の新鮮な野菜を使用させて頂いています。

月に一度の誕生会献立やセレクト献立なども実施しています。

これからも「安心・安全」で利用者様や職員様から「美味しい」と言ってもらえるような食事を提供していきたいと思つています。(株)レオック 栄養士



医務だより

〈糖尿病はどんな病気？〉

糖尿病には1型糖尿病と2型糖尿病の2つがあります。

1型糖尿病

膵臓のβ(ベータ)細胞が壊れてしまい膵臓から分泌されるホルモン(インスリン)が分泌されない状態。ブドウ糖の肝臓や筋肉への吸収がスムーズにいかなくなる。

※インスリンはブドウ糖をエネルギーとして分解する時に必要なホルモンとして分解する時に必要なホルモン

2型糖尿病

遺伝的に糖尿病になりやすい人が肥満、運動不足、ストレスなどをきっかけに発病します。インスリンの効果が出にくくなったり、膵臓からの分泌のタイミングが悪くなったりし血液中のブドウ糖が多くなる。

1型糖尿病と2型糖尿病の違い

	1型糖尿病	2型糖尿病
発症年齢	子どもや若い人に多い	中高年に多い
体 型	やせ型に多い	太った人に多い
発症の仕方	急激に発症し病状の悪化も急速	緩やかに発病し進行もゆっくり
発症の原因	膵臓のベータ細胞が破壊されるため	遺伝的体質に肥満などの要因が加わる
治療方法	インスリン注射	食事運動療法 場合によっては飲み薬とインスリン注射
ケトアシドーシス	起こしやすい	まれに起こす

新年度を迎えて各班から一言

【受注班】

1班はプラスチック部品を磨く受注の作業をしています。座って机に向かう仕事なので動きは少ないです。一昨年より、高齢虚弱者の日中支援について話し合いを続け、心身の健康維持の為に始めたのが「リズム体操」です。

2年経ち、各々が音楽に合わせて体を動かせるようになりました。今年度1班では41歳の方が別の作業班に移り、72歳の方が加わる異動がありました。

いすみ学園は大人として働く暮らしを支援していますが、定年がなく、現状では70歳を過ぎた方も一緒に作業へ参加されています。今後、一定の年齢に達した方や身体機能に配慮が必要な方に向けて、ゆつくり体を休めたり、無理なく活動を楽しんだり、必要な介護を行ったりする日課の必要性が見えてきました。いすみ学園は創立より32年が過ぎ、18〜20歳で入所した利用者も50歳代となりましたが、まだ元気に活動されています。現在60〜70歳代の方もおられますが、学園の高齢化対策は、5〜10年先に60歳代を迎える多くの利用者を見据えて準備途中です。

(支援主任 鈴木 典子)

【3-1A班】

春の日差しを暖かく感じ、桜の便りが次々に聞かれる折、いすみ学園も新年度を迎え、新たな一年がスタートしました。

この度異動となった3-1A班では、Iさんが室内班へ、万木工舎からTさんを迎え、支援員も私の他、今年大学を卒業し若さと希望に満ち溢れた安永

さんが配属となり、総勢13名の力で春夏秋冬農場で野菜作りに向かい合うことになりました。

今年も四季折々の野菜を作りながら、健康野菜にもチャレンジし、新たなヒット商品へと期待を込めながら意欲を燃やしています。また、学園祭での野菜販売で、日頃の成果を地域の方々に届けられるように、チーム一丸となり取り組んでいきたいと思っています。

農耕作業は季節によって厳しい時もありますが、立派に育った野菜を見ると苦労も笑顔に変わります。そんな喜びを共に分かち合える班を目指します。

(支援主任 田邊 清万)

【3-1B班】

主任業務を任せられ、そして3B班の責任者となり早一年が経ちました。これまで諸先輩方から教わった経験を活かし、がむしゃらに駆け抜けた28年度。そして今年度は、もう一度地に足を着け、新人の気持ちで頑張れる一年にしたいと考えています。

さてB班ですが、今年度もいすみ市からの委託業務(万木城址公園の整備、農道植栽)が主の活動となります。只、同時に野菜や花作りにも力を注げればと考えています。例年細々とやってきてはいましたが、正直な話内々で楽しむのが限界でした。そこで昨年度は一年掛けて作業環境を見直し、ハウス内に小さな畑を開墾したり、花作りにも挑戦してみました。一つ一つ手探りでありますが、どれも好評を得る事が出来ました。特に野菜類は厨房に出荷し、皆さんの食事として提供する事が出来嬉しく思っています。これはB班の大きい一歩だと感じています。(委

託事業がある為)決して手広くは行えませんが、利用者さんのやりがいの一つとし、又笑って楽しく過ごせる環境作りの為に今年度も努力したいと思えます。「B班ですごいな」「楽しそう」「私もB班で作業がしたい」。少々誇張し過ぎているかもしれませんが、皆が羨むそんな班になれば幸いです。

(支援主任 片岡 彰則)

【石鹼班】

新年度を迎え、また、新しいメンバーを加え、新たな気持ちで新生石鹼班がスタートしました。昨年は、台風などの影響で作業場の周囲の杉の木が倒れ、どうなるかと思いましたが、倒れた木を細かく切り、薪にする事で毎日の薪作りの仕事になっており、薪割りに毎日奮闘しています。作業場は周囲の木が無くなり大分明るくなりました。

油は近隣の給食センターやレストラン、ホテルなど色々な処から頂き、石鹼作りの方も順調に進んでいます。販売では、近隣直売所・スーパーをはじめ色々と取引をさせて戴いています。個人の注文もお客様の口コミで少しずつですが、顧客も増え、リピーターも増えてきています。今後もお客様により良い石鹼を届けたいとの思いを込め、みんなと力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

(支援主任 三上 慎一郎)

【加工班】

平成29年度の食品加工班は、職員2名の入れ替えとなり心機一転のスタートとなりました。利用者の方々は大きな混乱も無く、これからヨロシクねと声を掛けてくれるなど温かく迎え入れてくれました。この思いを大切に、

丁寧な支援をしていきたいと思えます。

さて、新たに班異動するに当たって加工班の使命は何だろうと少し考えてみました。答えはやはり、「美味しいものを作る」に行き着くのでしょうか。そしてその過程に、利用者の方々が入り、如何に「やりがい」に繋げるかが重要であるかと思えます。そのためには市場でも評価される高品質な商品を作る必要があります。

いすみ学園の加工食品ブランドは、ある程度の知名度が現状でもあると思っています。無添加にこだわり、安心安全に食べることが出来ます。しかし現在そのような健康・安全志向の商品は当たり前の時代であり、そこにプラスアルファの付加価値を付けることで評価されるようになりました。これから目指す加工班は、時代のニーズに合わせた商品を作り、利用者への皆さんの更なる「やりがい」を求めていきたいと思えます。(支援主任 長沼 毅)

【万木工舎】

29年度を迎えて「Aさんキレイに織れてるね」「Mさんの方が上手だよ」「Kさん一枚取って下さい」「3時が心配なんです」「Yさん、可愛いね」「ちっちゃー」「待ってー」。

29年度の万木工舎も、相変わらず賑やかです。利用者は9名で、内1名の入替えがありました。皆さん穏やかな毎日です。そして職員は2名の増員で7名に。だめです。聞かないで下さいね、平均年齢は・・・。

(支援主任 加茂 正和)

※グループ実習(勝浦班・大原班)は次号に掲載します。

いすみ学園 後援会会員の御寄付 感謝録

平成28年4月から平成29年3月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。有難うございました。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

五十嵐正一・石井千賀子・菊地一雄・小川清敏・関正明・田中三枝子・銅谷勝子・西山光江・原井恵二・南澤恒男・土田修二・末清節子・五十嵐敏子・高田芳允・竹谷虎雄・土肥真・小田嶋勉・稲葉伸子・飯田香・天野真弓・江幡誠・加林讓・斉藤晴夫・西村秀美・西村耕也・由井澤・大塚克行・久保喜平・渡部勇・斉藤嘉津代・会田操・赤嶺淳一・泉富夫・大石坦・勝俣洋子・北本三千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代・生悦住満・小澤育圃・吉田みつ子・喜屋武隆一郎・中川美津江・市川洋子・落合邦行・牧千代子・広瀬千鶴子・三室玲子・落合直美・窪田邦子・伊藤典子・常本一典・常本久美子・佐々木辰雄・寺本キヨ・斉藤日出子・中津ヒロ子・山添和加・畠津久代・北方政實・土方満喜子・淀野員代・会田哲也・会田正・植木俊一・竹田和弘・柏原一英・

武藤誠・会田洋・植木茂・藤田久江・赤間嘉幸・内山亘・北條忠男・名塚義英・岩崎陽子・岩崎アイ・中谷利勇・中谷利一・甘粕隆・飯島せつ子・若月ヒロ子・川端佐知子・相田捷二・石黒雄幸・坂本ツネヨ・遠藤進・本名猛・森和子・森孝子・中野光夫・湯上宏子・花光智恵美・花光英和・高垣千代・森勝・亀山紀子・相沢雅代・伊藤明男・上村悦子・大谷光弘・甲斐友美・桐生敏幸・坊垣勝彦・横井葉子・山本和弘・杉山尚浩・鈴木翠・水戸部章・栗山尚久・横田ゆうこ・辻祐樹・中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・清水孝・山内千晶・高尾美幸・関口達重・高橋茂子・関口いせ・千葉ヨシ・愛川義雄・内山浩・小俣光弘・瀬田武久・辻和洋・山樹文子・斉藤恵子・高橋マリ・斉藤澄子・麻生実・小高成子・川野和永・菊米與工門・菊米豊・石井莊司・石井恵美子・長田重孝・長田早苗・中村達・杉山恵子・星田健二・永野昌博・斉藤明美・榎下順子・福本聡・三室美千子・尾科弘臣・幸村幸代・中村文子・須田博子・木瀬三佐子・北澤友幸・高橋節子・池田博樹・守隨良子・清水美保子・岩瀬文江・伊藤信一郎・小峯賢・吉野いせ・土渕りり子・土渕精一・小泉真理子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅子・細谷幸子・日柄幸子・細谷光子・朝倉幸子・石田節子・誂高良子・田中一・重田真幸・清水稔子・佐々木幸雄・戸沢康弘・宿沢修・若林道子・矢澤千里・永江加代子・高澤文子・松島弘美・

清水潤二・高桑邦子・桐澤里津子・小野英子・木村奈津江・松戸裕子・川名教子・原口まり子・大森もと子・沼志賀子・永江保幸・岩橋圭子・岩間美由紀・永江幸一・清水弘・清水千代子・清水彰・高梨寿美枝・清水裕・松浦篤枝・能勢恭子・川本雅巳・清水從子・清水信之・沢井一郎・斉藤誠司・猿渡まり子・原田博司・星野参郎・高梨悟・卓初子・小林富次郎・松田美津子・嶋倉是博・永田豊・後藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水祐一・甘利紀子・岩沢広元・池田瑞枝・金原市郎・鈴木たま子・後藤明子・平松金三・桐谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川恵子・益田和也・今井顕・今堀亨子・赤坂徳子・赤坂和子・江尻尚樹・江尻恭仁子・江尻全棧・吉沢恵美子・中村敬・中村ヤ工子・姫野保雄・近藤和義・上野梢・岩本菊子・林慎子・米丸啓子・米丸孝・石渡紀久・種市広・本田光・畠山護・津倉京子・阪本悦子・石川隆三・石川洋子・辻村邦康・佐藤剛・白川均・和座勝朗・辻村純子・山科敏夫・長谷欣之・宮田茂・大船哲夫・山下巧・御手洗辰治・大原俊二・大原夏子・星芳・大原麻紀子・小泉千寿子・松中研一・山崎友子・松中紀子・松中耕二・小林章子・浅野勝伸・村野主税・権田孝・土井由起子・山之内玲子・伊藤恵子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・月岡真智子・古屋大蔵・杉本郷・木幡道子・今井和子・串田正悟・新藤千香子・三池朝子・西沢敦子・豊村幸夫・伊藤幸

雄・並木紀子・山内八洲・柿ピーアイエー・神保電器(株)・高浦伸芳・塚原光江・山地純一・実方悦子・松本設備工業(株)・鈴木光治・今野康子・(株)新清ハイツ・渋木照子・濱野彰親・平なおこ・細井好・長良幸男・瀧島義光・原耕一・高山商店・キリスト同信会婦人会・金平輝子・芝崎勇二・斉藤実久保田武子・北山静香・中森昭子・西内恭子・愛川久子

後援会にご入会を!

いすみ学園の活動を支援するために後援会が結成され、積極的な活動を行っています。皆様方のご協力をお願いいたします。

詳細は学園事務局へご照会下さい。
連絡先 いすみ学園内
〇四七〇(八六) 三四一二

『ふるさと納税』 してみませんか?

いすみ市ふるさと納税のお礼品にいすみ学園の商品が掲載されています!
この機会に、是非いかがですか?



いすみ学園 大地の恵みセット



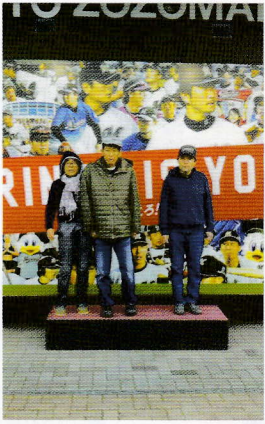
4月6日(木)、ZOZOマリンスタジアムで千葉ロッテマリーンズVS北海道日本ハムファイターズの試合を観戦してきました。毎年、千葉日報社様より招待をして頂きバックネット裏2階のすばらしい席でスター選手を間近に見ながら楽しんでいきます。

当日も風は強かったのですが晴天に恵まれ、早めに球場入りをして練習から観戦することができました。利用者の皆さんも大分環境にも慣れていて、多くの人がいる中をしっかりと移動しぶつかかることもありません。

試合はデーゲームで14時にプレーボールとなりました。家族で来ている方が多く、また開幕してすぐということもあり、満員に近い状態でした。試合が始まると審判をチェックしていたり、トランペットや大きな声で応援をしている人を見ていたり、売り子のお姉さんを見ていたり利用者それぞれ楽しみ方で過ごしていました。笑顔も多く満足した休日だったと思います。

最後に、いつもご招待を下さる千葉日報社様に感謝をし、これからもよろしくお願い致します。

(支援員 横田 武志)



🚫 野球最高!! 🚫

平成29年度主要行事

- 4月9日(日) 面会日
- 5月3日(水) ゴールデンウィーク
～7日(日) 一時帰宅
- 6月11日(日) 面会日
- 6月 ポーナス外出
生き活きフェア

(サマータイム)

- 7月15日(土) 面会日・夏祭り
- 7月～8月 夏の行事
- 8月11日(金) 一時帰宅
- 8月17日(木) 一時帰宅
- 9月2日(土) 夜間避難・召集訓練
- 9月 生き活きフェア
- 10月8日(日) 面会日
- 10月21日(土) 榎の里祭
- 11月19日(日) 一時帰宅
- 11月22日(水) 生き活きフェア
- 11月 生き活きフェア
- 12月10日(日) 面会日
- 12月 クリスマス忘年会
- 12月28日(木) 年末年始の
～ 一時帰宅
- 1月4日(木) 一時帰宅
- 2月11日(日) 面会日
- 2月 節分会
- 3月4日(日) 面会日
- 3月 生き活き展

よろしくお願い致します



安永 武司

今年国際武道大学を卒業して、4月から入社した安永武司です。

大学までの12年間剣道をやっていました。またまだ分からない事ばかりで、職員、保護者の方にご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



川名 純子

4月から1班でお世話になります川名純子と申します。

福祉の仕事は、初めてなので何事も時間がかかると思いますが、利用者様に少しでも支援できるように努力します。よろしく宜しくお願いします。



宇井 栄子

このたびは生活で働かせていただきありがとうございます。宇井と申します。

初めての事ばかりで、皆様には何かとご迷惑をおかけするとは思いますが、どうぞご指導よろしく宜しくお願いします。

感謝録

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附金〕

- キリスト同信会茅ヶ崎集會・斉藤嘉津代・キリスト同信会東京中野パークサイドチャーチ

〔寄附物品〕

- ・(株)新健食・(株)アサヒブルーフ・原井清子・皆川会計事務所・いすみ農業協同組合・(株)西川・(有)田辺印刷・(有)松本設備工業・谷川陽子・濱田奈緒美・(株)ビーアイエー・宿澤修・備佐啓会ふる里学舎・(有)源氏商店・佐藤洋子・(株)新清ハイツ・全経済関東支部・鶴岡重美・宇佐美幸子・白井和代・(有)高山商店・小野美恵子・(社)食品ロス リポーター・田邊司郎・島村紙店・六いちご園・たきのえいじ・大和久正仁・(株)新環境設計・鶴岡ひで子・(有)日の出商会・葉田文子・小林克行・堀山香織・青柳芳江・千葉日報福祉事業団

編集後記

満開の桜と共に新年度がスタートしました。今年は様々な視点からいすみの暮らしを見つめてみたいと思っています。ぜひお楽しみに♪

(支援員 岩瀬 祐三子)

題字は福本真砂子さんです。